

遊ぼう！ 学ぼう！ ジオ！！

【ジオパークとは】

ジオパークとは、「地球・大地（ジオ：Geo）」と「公園（パーク：Park）」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球（ジオ）を学び、丸ごと楽しむことができる場所のことで、2021年4月現在、全国で43地域が認定されています。

大地（ジオ）の上に広がる、動植物や生態系（エコ）の中で、私たち人（ヒト）は生活し、文化や産業などを築き、歴史を育んでいます。ジオパークでは、これらの「ジオ」「エコ」「ヒト」の3つの要素のつながりを楽しく知ることができます。

ジオパークでは、見どころとなる場所を「ジオサイト」に指定して、多くの人々が将来にわたって地域の魅力を知り、利用できるよう保護を行います。

その上で、ジオの魅力・特性を生かした観光振興、地域への愛着や誇りの醸成、防災知識の向上及びジオ資源の保全を図るとともに、積極的・主体的な国際交流や他地域への支援などを通じて、ユネスコの理念に沿った国際的なネットワーク活動を推進することを目的とします。

ジオパークとの関わり

令和3年2月5日に開かれた日本ジオパーク委員会において、これまでの鹿児島市エリアに、新たに垂水市と始良市を加えた拡大エリアでの、桜島・錦江湾ジオパークが「日本ジオパーク」として認定されました。市民の皆様も、少しずつ「ジオパーク」という言葉を、見聞きすることが多くなっていると思います。

今回、桜島・錦江湾ジオパークの鹿児島市・垂水市・始良市に加え、霧島ジオパークの霧島市の計4市が、同時期にジオパークの特集を組むこととなりました。

垂水市では、数あるジオサイトの中でも、「猿ヶ城溪谷」に焦点をあて、「遊び」と「学び」を切り口に、夏休みを迎えている子どもたちや、そのご家族、まだジオをよく知らない方々のために、ジオの魅力をお伝えします。

私たちの何げない暮らしの中に、必ずジオは関わっています。今回の特集で、市民の皆様が、ジオを身近なものとして感じ、少しでも関わりを持っていただければ幸いです。

垂水のジオ案内人 ツーリズムたるみず

桜島・錦江湾ジオパークでは、ジオの魅力・特性を生かした観光・交流の推進、自然科学への認識の向上および郷土への愛着や誇りの醸成などを目的として、桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会が運営されています。

ツーリズムたるみずは、協議会内のガイド団体として参加されており、今回の特集では、ツーリズムたるみずの皆さんにご協力いただき、猿ヶ城溪谷の魅力をお伝えします。



ツーリズムたるみず
中木 青茂 さん